

技術情報

各関係機関団体の長  
各病虫害防除員  
農業資材販売等関係者 } 殿

福岡県病虫害防除所長

イチゴ炭疽病防除の徹底について

イチゴ炭疽病の潜在感染状況を調査した結果では、潜在感染株率は前年よりやや低い状況でした。

しかし、本年は梅雨入り後、断続的な降雨が続き、特に7月24日からの記録的な豪雨で、浸冠水を受けた育苗ほも見られております。

つきましては、本病の感染拡大が懸念されますので、健全苗の確保に向けて、防除の徹底を指導願います。

- 
- 1 作物名       イチゴ
  
  - 2 病虫害名     炭疽病
  
  - 3 エタノール浸漬法によるイチゴ炭疽病の潜在感染株調査結果（7月2半旬採集）  
炭疽病潜在感染株率   13.3%（前年 20.8%、過去3か年平均 19.7%）  
潜在感染株確認ほ場率 71.4%（前年 70.0%、過去3か年平均 64.0%）
  
  - 4 防除上注意すべき事項
    - （1）浸冠水を受けた場合には、早急にほ場内の排水を行うこと。
    - （2）降雨の合間に薬剤散布を行うこと。なお、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行うこと。
    - （3）葉かぎなどの管理作業時に苗をよく観察し、葉や葉柄に発生した病斑の早期発見に努め、罹病株及び周辺の株は直ちに除去すること。
    - （4）低温処理時の注意事項
      - ア 夜冷短日や低温暗黒などの処理は、株へのストレスがかかり発病を助長するので、入庫前に生育状況を確認し、健全苗を使用すること。
      - イ 株冷のコンテナや夜冷庫に苗を詰めすぎないこと。
      - ウ 株冷入庫前、陽光処理時のかん水は、過度にならないように注意すること。

表 イチゴ炭疽病 潜在感染株調査 (単位：%)

調査地点		本年	前年
本所	前原市	15	20
	福津市	10	0
	久留米市田主丸町	25	0
	久留米市宮ノ陣町	5	0
	筑前町	20	25
	嘉麻市	0	-
	飯塚市	5	-
	福智町	25	0
	筑後支所	八女市	0
筑後市		-	20
大川市		0	0
大木町		15	5
黒木町		5	5
広川町1		0	10
広川町2		0	0
みやま市高田町		0	15
行橋支所	岡垣町1	20	80
	岡垣町2	20	50
	行橋市	15	35
	豊前市1	10	50
	豊前市2	25	15
	みやこ町豊津	65	75
潜在感染株率		13.3	20.8
潜在感染株確認ほ場率		71.4	70.0

注1 調査地点は県内のイチゴ育苗期の定点調査ほ場21か所、

検定用の採集は、1地点20株、1株当たり下位葉2～3枚。

注2 採集は7月2半旬、処理は7月13日、判定は7月27日(2週間後)に行った。

注3 検定手順

(1) 検定葉を70%エタノールに30秒浸漬後、水洗

(2) 滅菌水で湿したろ紙を敷いたシャーレに検定葉を収め、恒温器(25℃設定)に静置

(3) 検定葉を検鏡し、炭疽病菌の有無を確認